

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2009-118436(P2009-118436A)

【公開日】平成21年5月28日 (2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-292484(P2007-292484)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 1 1 B 27/34 (2006.01)

G 1 1 B 19/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 F

G 1 1 B 27/34 S

G 1 1 B 19/00 1 0 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月9日 (2010.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、
主電源スイッチと、
当該情報記録装置と外部機器との接続状態を検出する検出手段と、
前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記主電源スイッチが OFF
の状態であっても、前記記憶媒体の状態を通知する通知手段を有することを特徴とする情
報記録装置。

【請求項 2】

前記外部機器は前記情報記録装置に電力を供給する機器であることを特徴とする請求項
1 に記載の情報記録装置。

【請求項 3】

前記記憶媒体が装着されているか否かを検出する記憶媒体検出手段をさらに備え、前記
検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記記憶媒体検出手段は前記記憶媒
体は装着されているか否かを判断し、前記記憶媒体が装着されていない場合には、前記通
知手段は、警告を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報記録装置。

【請求項 4】

前記主電源スイッチが OFF の状態のときに、前記検出手段が前記外部機器との切断を
検出し、前記記憶媒体検出手段が前記記憶媒体が装着されていると判断した場合には、前
記通知手段は、前記主電源スイッチは OFF の状態のままで前記通知を行わないことを特
徴とする請求項 3 に記載の情報記録装置。

【請求項 5】

装着された前記記憶媒体の容量を検出する記憶媒体残容量検出手段をさらに備え、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記記憶媒体残容量検出手段が前記記憶媒体の残容量を調べ、残容量が所定の基準値よりも少ない場合に、前記通知手段は、警告を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の情報記録装置。

【請求項 6】

前記主電源スイッチが OFF の状態のときに、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出し、前記記憶媒体残容量検出手段が前記記憶媒体の残容量が所定の基準値よりも多いと判断した場合には、前記通知手段は、電源は OFF の状態のままで前記通知を行わないことを特徴とする請求項 5 に記載の情報記録装置。

【請求項 7】

装着された前記記憶媒体の記録レートを検出する記録レート検出手段をさらに備え、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記記録レート検出手段が記憶媒体の記録レートを検出し、検出した記録レートが当該情報記録装置の記録レートよりも劣る場合に、前記通知手段は、所定の通知を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の情報記録装置。

【請求項 8】

前記所定の通知とは記憶媒体の交換を促す通知であることを特徴とする請求項 7 に記載の情報記録装置。

【請求項 9】

主電源スイッチを有し、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置の制御方法であって、

当該情報記録装置と外部機器との接続状態を検出する検出工程と、

前記検出工程により前記外部機器との切断が検出された場合には、前記主電源スイッチが OFF の状態であっても、前記記憶媒体の状態を通知する通知工程とを有することを特徴とする情報記録装置の制御方法。

【請求項 10】

主電源スイッチを有し、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する制御を情報記録装置のコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

当該情報記録装置と外部機器との接続状態を検出する検出工程と、

前記検出工程により前記外部機器との切断が検出された場合には、前記主電源スイッチが OFF の状態であっても、前記記憶媒体の状態を通知する通知工程とをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、主電源スイッチと、当該情報記録装置と外部機器との接続状態を検出する検出手段と、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記主電源スイッチが OFF の状態であっても、前記記憶媒体の状態を通知する通知手段を有することを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、前記外部機器は前記情報記録装置に電力を供給する機器であることを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、前記記憶媒体が装着されているか否かを検出する記憶媒体検出手段をさらに備え、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記記憶媒体検出手段は前記記憶媒体が装着されているか否かを判断し、前記記憶媒体が装着されていない場合には、

前記通知手段は、警告を行うことを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、前記主電源スイッチがOFFの状態のときに、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出し、前記記憶媒体検出手段が前記記憶媒体が装着されていると判断した場合には、前記通知手段は、前記主電源スイッチはOFFの状態のままで前記通知を行わないことを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、装着された前記記憶媒体の容量を検出する記憶媒体残容量検出手段をさらに備え、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記記憶媒体残容量検出手段が前記記憶媒体の残容量を調べ、残容量が所定の基準値よりも少ない場合に、前記通知手段は、警告を行うことを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、前記主電源スイッチがOFFの状態のときに、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出し、前記記憶媒体残容量検出手段が前記記憶媒体の残容量が所定の基準値よりも多いと判断した場合には、前記通知手段は、電源はOFFの状態のままで前記通知を行わないことを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、装着された前記記憶媒体の記録レートを検出する記録レート検出手段をさらに備え、前記検出手段が前記外部機器との切断を検出した場合に、前記記録レート検出手段が記憶媒体の記録レートを検出し、検出した記録レートが当該情報記録装置の記録レートよりも劣る場合に、前記通知手段は、所定の通知を行うことを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置は、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置であって、前記所定の通知とは記憶媒体の交換を促す通知であることを特徴とする。

また、本発明の情報記録装置の制御方法は、主電源スイッチを有し、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する情報記録装置の制御方法であって、当該情報記録装置と外部機器との接続状態を検出する検出工程と、前記検出工程により前記外部機器との切断が検出された場合には、前記主電源スイッチがOFFの状態であっても、前記記憶媒体の状態を通知する通知工程とを有することを特徴とする。

また、本発明のプログラムは、主電源スイッチを有し、着脱可能な記憶媒体に情報を記録する制御を情報記録装置のコンピュータに実行させるためのプログラムであって、当該情報記録装置と外部機器との接続状態を検出する検出工程と、前記検出工程により前記外部機器との切断が検出された場合には、前記主電源スイッチがOFFの状態であっても、前記記憶媒体の状態を通知する通知工程とをコンピュータに実行させるためのプログラムである。